

## 2016年から続く製薬工場全体での継続的な省エネルギーの取り組み

## 1 事業者

日医工岐阜工場株式会社、中部電力ミライズ株式会社

## 2 対象事業所

日医工岐阜工場

## 3 概要

## (1) 課題認識

日医工岐阜工場では、取り組み前はエネルギー消費量やCO<sub>2</sub>排出量が年々増加しており、省エネ活動が求められていた。一方で製薬工場での省エネ活動は、医薬品の品質に影響が出ないように慎重に行う必要があるため、実施が難しいという課題を抱えていた。

## (2) 実施内容

両社の役割を明確化し強みを活かすことで、計画的かつ医薬品の製造環境を維持した状態での省エネ目標<sup>\*</sup>の達成を目指した。

<sup>\*</sup>2020年にCO<sub>2</sub>排出量を2016年度比で▲20%

両社の役割と強み	
 <b>NICHI-IKO</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>工場運営における設備管理・運用管理</li> <li>医薬品製造におけるノウハウを生かした省エネ施策の精査・検討・実施</li> <li>各設備更新計画の策定及び稼働状況把握</li> </ul>
 中部電力ミライズ	<ul style="list-style-type: none"> <li>エネルギー使用量や温湿度等の計測・分析</li> <li>省エネに関する高い知見を活かした省エネ施策提案</li> <li>省エネ施策実施による効果試算・確認</li> </ul>

## (3) 実施結果

- 電気やボイラー燃料の消費エネルギー量が削減され、CO<sub>2</sub>換算値として2022年度には2016年度比▲36.7%の削減を達成した。
- CO<sub>2</sub>排出量の推移は以下の通り。

